






He is an astronaut. He has a helmet.	He is a doctor. He has a stethoscope.	She is a nurse. She has a thermometer.
		
He is a guitarist. He has a guitar.	She is a pianist. She has a flower.	He is a policeman.(police officer) He has a stick.
		
He is a fireman.(fire fighter) He has a hose.	She is a teacher. She has a book.	He is a baker. He has a cake.

Action 2, Lesson 15 の職業を扱うページです。見開きで 17 種類の職業とその職種に関係のある持ち物を扱い、今までに経験させてきた動詞の復習をするのが目的です。前の授業までに、職業の名前は大体イメージができています。そこで、**He is a doctor. She is a nurse.** と読み上げると、そのイラストに着目します。そこでもう一度、**He is a doctor. He has a stethoscope. She is a nurse. She has a thermometer.** とゆっくり聞かせます。ん？という顔をしている子どもたちに、続けて、**He is a fire fighter. He has a hose.** と聞かせると、どうやら 2 番目に持っているものを言っている、と理解の意図を手繰っています。そこで、**She is a teacher.** と言うと、隣のイラストに目を移して、次を待っています。目で「読んでごらん」と合図を送ると、**She has a book.** (すごい、やったあ!) という気持ちを抑えて、**He is a guitarist.** と言うと、子どもが **He has a guitar.** 少し急ぎ過ぎているかな、と思いつつ、**He has a cake.** と言うと、何と子どもは **He is a baker.** (う～ん、読めるようになってる!) という感動を更に胸の中に押し込んで、他の職業に移っていきます。

何とも不思議だな、と思うのは、**She is a flower. She has a pianist.** のような間違いが絶対に起こらないことです。この活動をするまでに、**He/ She is.... He/ She has....** というインタラクションを、手を変え品を変え十分やり、音声がかかり体の中に入っているからなのだと、これまでの子どもの成長を頼もしく思います。

電子黒板上では、職業の人のイラストと、下の 2 つの英文とが別々に移動できるようになっています。そこで人物を動かしておいて、英文を聞かせると、カルタ取りの要領で、人物を正しい英文の上にドラッグしてくるゲームができます。